

(臨床研究に関するお知らせ)

紀南病院で植込み型心臓電気デバイス遠隔モニタリングを実施中の患者さんへ

紀南病院臨床工学部では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、紀南病院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

当院における植込み型心臓電気デバイス遠隔モニタリング未受信患者対応について

2. 研究責任者

紀南病院 (職名) 臨床工学技士 (氏名) 大上卓也

3. 研究の目的

当院は2012年より植込み型心臓電気デバイスの遠隔モニタリング(RM)を開始しました。RMの有益性は高く、現在では標準的な管理手段として導入が推奨されています。また厚生労働省からのオンライン診療の推進や診療報酬の引き上げもあり年々増加しています。当院では現在250名に対してRMを行っています。しかしながら、RMを導入した後で、データ未受信となる患者が一定数存在します。そして、未受信患者ほど予後が悪いという報告があります。そこで、RMを導入した患者の予後を改善するためには、未受信患者に対する対応が重要であると考え、当院においても未受信となった患者に着目しその原因や対応について調査することにしました。今回の研究結果が、今後のRM管理の改善、ひいては患者の予後改善に貢献するものと考えております。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

令和元年4月1日から令和3年6月30日までの期間中に、当院で遠隔モニタリングを行った心臓電気デバイス植込み患者さん。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、疾患、植込みデバイス、デバイス植込み術実施日、RM受信結果、未受信の原因、未受信後の対応、生命予後等です。

(3) 方法

過去のカルテ情報の利用

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被るこ

とは一切ありません。

7. 問い合わせ先

紀南病院 臨床工学部 担当技士 大上卓也

TEL : 0739-22-5000 FAX : 0739-26-0925

E-mail : toue@wakayama-med.ac.jp